

3 歳児保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い（省略）

2 期のねらいと内容（9月～10月）

- 先生や友達と一緒にいることを喜び、触れ合う楽しさを味わう。
- 秋の自然に触れ、興味や関心をもつ。
 - ・先生や友達がしていることに興味をもち、自分も同じことをしてみようとする。
 - ・走ったり踊ったり、体を動かすことを喜び、戸外で遊ぶことを楽しむ。
 - ・うれしいことや不思議なことなどを先生や友達に自分なりの方法で表現しようとする。
 - ・身近な秋の植物や小動物を見たり、触ったりしながら興味をもって関わる。

3 週のねらいと内容（10月25日～29日）

- 先生や友達と一緒に、同じ遊びをする楽しさを味わう。
- 秋の自然に触れ、自然物を使って遊ぶことを楽しむ。
 - ・先生や友達と一緒に、リズム遊びや鬼ごっこなどをしながら、身体を動かす遊びを楽しむ。
 - ・友達と好きな遊びを繰り返すことによって、一緒にいる心地よさを感じる。
 - ・自分の思いや感じたことを自分なりの方法で伝えようとする。
 - ・秋の自然物に触れながら、使って遊んだり集めたりして自然物に親しむ。

4 本日のねらいと指導計画

ねらい

- 先生や友達と一緒に行動したり、遊んだりすることを楽しむ。
- 身近な秋の自然に触れて親しむ。

時刻	予想される幼児の生活・内容	指導の要点と環境構成
8:30	○登園する。 ・先生や友達に挨拶をする。 ○登園時の活動をする。 ・持ち物の始末をする。 ○自ら選んだ遊びをする。 体を動かして遊ぶ。 ・はないちもんめや鬼ごっこなど簡単なルールのある遊びをする。 ・三輪車やスケーターに乗って、友達と一緒に探検したり競ったりしながら遊ぶことを楽しむ。 リズム遊びをする。 ・好きな曲に合わせて、リズムをとったり踊ったりする。	○一人一人の幼児と挨拶を交わし、健康状態を把握するとともに、笑顔で迎えながら安定した気持ちで生活が始められるようにする。 ○保護者と離れにくい幼児には寄り添い、気持ちが落ち着くまで一緒に過ごし、遊び始められるよう見守る。 ○友達と触れ合いながら遊ぶ心地よさや名前を呼んでもらえる喜びを感じられるよう、教師も遊びにわりながら幼児同士をつなげていく。 ○異年齢で教え合ったり思い思いに表現したりしながら、曲に合わせて体を動かす楽しさを味わえるよう、運動会で経験した曲や幼児の好きな曲を用意しておく。

<p>10 : 20</p> <p>11 : 00</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4歳児や5歳児の踊りをまねて一緒に踊ることを楽しむ。 秋の自然物を使って遊ぶ。 ・ ドングリなどの秋の自然物を使って遊ぶ。 ・ 木の実や落ち葉などを集めることを楽しむ。 ごっこ遊びをする。 ・ 遊具や自分が作った物からイメージを広げて、なりきって遊ぶことを楽しむ。 ・ 自分のなりたい役になって遊びながら、同じ場にいる友達の存在に気付く。 <p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が使った物や気付いた物を片付ける。 <p>○学級での活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まねっこ遊びをする。 「びよびよさん」 <p>○降園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降園準備をする。 <p>○降園する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の発見や気づきに共感しながら、受け止めていく。 ○思いの行き違いなどでいざこざになった場合には、それぞれの思いを十分に受け止めながら、自分の思いを伝えられるよう励ましたり、必要に応じて教師が代弁したりする。 ○ごっこ遊びを十分楽しめるように、一人一人の発想や素朴な表現を受け止め、共感していく。 ○片付けを頑張っている姿を認めたり励ましたりしながら教師も一緒に片付けをし、きれいになった気持ちよさを感じられるようにする。 ○必要に応じて水分補給や休息の時間をとって幼児の体調に留意したり、排泄を促す言葉掛けをしたりする。 ○安心して活動に参加できるように、今までに楽しんできた手遊びを取り入れて雰囲気づくりをし、教師や友達と一緒に過ごす時間を楽しめるようにする。 ○友達と一緒にリズムに合わせて動くことや気持ちを合わせることの楽しさを感じられるように、みんなで声を出してできるよう促す。 ○ゆったりとした雰囲気の中で、今日の出来事や翌日の予定について話し合い、明日の活動に期待がもてるようにする。 ○幼児一人一人と丁寧に挨拶を交わしたり、保護者に今日の出来事や連絡事項等を伝えたりする。
-------------------------------	--	--

評 価	<p>(幼児の育ちを捉える視点)</p> <ul style="list-style-type: none">○教師や友達と一緒に行動したり，遊んだりすることを楽しむことができたか。○身近な秋の自然に触れることができたか。 <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <ul style="list-style-type: none">○友達と触れ合いながら遊ぶことができるよう教師も共に遊びながら，幼児同士をつなげる関わりができたか。○幼児が興味をもって関わるように環境を整え，それぞれの思いに共感できたか。
-----	---